

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
<p>どうとくで学習すること</p> <p>どうとくではこんな学び方をするよ</p> <p>どうとくの学習をもっと広げよう</p>	1	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているかどうかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>1 あなたならできる</p> <p>「自分でできることをふやす」</p> <p>【A 節度、節制】</p>	1	はるかが毎日作戦を実行することができたことについて話し合うことをとおして、自分でできることを考えて行動することのよさや難しさに対する考えを深め、自分でできることは自分でしようとする判断力を育てる。	自分でできることを考えて行動することのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。	主体性のある行動の大切さを理解し、自分から生活を整えて自律して行動することについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>2 気持ちのいいあいさつ</p> <p>「心をこめて」</p> <p>【B 礼儀】</p>	1	気持ちのいい挨拶とはどういうものかについて考えたり、話し合ったりすることをとおして、礼儀の大切さに気づき、すすんで気持ちのいい挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	礼儀の大切さに気づき、気持ちのいい挨拶とはどういうものかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	礼儀の大切さに気づき、気持ちのいい挨拶とはどういうものかについて、多面的・多角的に考えることができているか。  真心を態度で示すとはなにかについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>3 貝がら</p> <p>「友達とりかいし合う」</p> <p>【B 友情、信頼】</p>	1	「ぼく」と中山くんの関係について話し合うことをとおして、友達のよさを発見し理解することのよさに気づき、友達と理解し合い、仲よくしようとする心情を育てる。	友達と理解し合うことの大切さに気づき、友達のよさを発見し理解することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	友達と理解し合い仲よくすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>4 ふろしき</p> <p>「つたえられてきた文化」</p> <p>【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】</p>	1	古くから伝えられてきたふろしきのよさについて学ぶことをとおして、わが国の伝統と文化への理解を深め、それらを大切にしようとする心情を育てる。	国の伝統と文化のよさに気づき、国や郷土を愛することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	国の伝統と文化に関心をもち、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>5 ライラックのさく庭で</p>	1	「わたし」とリラちゃんとの交流	他国の人や文化に親しむことの大切さに気	他国の人や文化に親しむことの大切さに気

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
「ほかの国の人たちともなかよく」 【C 国際理解、国際親善】		について考えることをとおして、他国の人や文化に親しむことの大切さに気づき、他国の文化を理解し親しもうという心情を育てる。	づき、自国の文化との共通点や相違点について、多面的・多角的に考えることができるか。	いて、自分との関わりで考えることができるか。
6 ヒキガエルとロバ 「命あるものを大切に」 【D 生命の尊さ】	1	ロバの行動を見たアドルフたちの気持ちについて話し合うことをとおして、命の尊さに対する考えを深め、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	命の尊さに対する考えを深め、生命あるものを大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。	生命の大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
7 新聞係 「きまりを守ることの意味」 【C 規則の尊重】	1	新聞作りのきまりについて話し合うことをとおして、きまりを守ることの大切さに対する考えを深め、きまりを大切にしようとする判断力を育てる。	きまりを守ることに對する考えを深め、きまりを守ることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。  きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。	きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
8 「えがおいっぱい」 「楽しいクラスをつくる」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	あおいのクラスの「えがおいっぱいせんげん」について話し合うことをとおして、笑顔がいっぱいのクラスのよさに気づき、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくらうとする心情を育てる。	笑顔がいっぱいのクラスのよさに気づき、みんなで協力し合って楽しいクラスや学校をつかっていくことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	楽しいクラスや学校をみんなで協力し合っ てつってっていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
9 エプロン 「自分のよさに気づき、のばす」 【A 個性の伸長】	1	いつきが自分の特技に気づけたことについて考えることをとおして、自分の長所を伸ばすことの大切さに気づき、長所を伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	自分の長所を伸ばすことの大切さに気づき、長所を伸ばしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分の特徴に気づき、長所を伸ばすことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
10 気づく心 「相手の立場になって」 【B 親切、思いやり】	1	お母さんを助けたあとのあつしの気持ちについて話し合うことをとおして、困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づき、思いやりのある行動をしようとする心情を育てる。	困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づき、相手の気持ちを自分のこととして想像することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	親切にすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
11 おそろしいゲームいぞん 「けんこうに気をつけて生活する」 【A 節度、節制】	1	ともあきが生活を整えることができた理由について話し合うことをとおして、自分の生活を整えることよさや難しさに対する考えを深め、安全に気をつけ、節度のある生活をしようとする心情を育てる。	規則正しく生活することの大切さに気づき、自分の生活を整えることよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分の生活を振り返り、自分から生活を整えて、自律していこうとすることよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
12 悪いのはわたしじゃない 「あやまちをみとめてすなおに」 【A 正直、誠実】	1	なおたちがれなにしたことの問題点について話し合うことをとおして、正直に明るい心で生活することの大切さに気づき、過ちは素直に改め、誠実な態度で接しようとする心情を育てる。	過ちを素直に改めることの大切さに気づき、誠実な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	過ちは素直に改め、誠実な態度で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
13 仲間だから 「友達のためにできること」 【B 友情、信頼】	1	たくやさんの気持ちとゆいの思いについて話し合うことをとおして、本当の友達に対する考えを深め、友達と理解し合い助け合おうとする心情を育てる。	本当の友達とは何かに対する考えを深め、友達と信頼し、助け合っていくことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	本当の友達になるために大切なことを理解し、友達と信頼し、助け合っていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
14 何がいけないのかな 「真心をもって」 【B 礼儀】	1	まなみさんの行動について体験的に学ぶことをとおして、相手の立場や気持ちに応じて接することの大切さに気づき、丁寧な言葉づかいで真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。	相手の立場や気持ちに応じて接することの大切さに気づき、丁寧な言葉づかいで周りの人に接することについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。	丁寧な言葉づかいで、真心をこめて接することについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
15 楽しめばすきになる 「努力は楽しんで」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	漢字練習に対するこうたの姿勢について話し合うことをとおして、苦手なことも楽しんで取り組むことのよさに気づき、目標に向かってやり抜こうとする心情を育てる。	苦手なことも楽しんで取り組むことのよさに気づき、努力することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	目標をもって努力し続けることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
16 ドッジボール大会 「男女で分けへだてをせずに」 【C 公正、公平、社会正義】	1	しゅうへいのしたことの問題点について話し合うことをとおして、偏見をもたないことの大切さに気づき、誰に対しても分け隔てをしないで公正・公平な態度で接しようとする心情を育てる。	勝手な決めつけをしないことの大切さに気づき、偏見をもたないで、公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	誰に対しても偏見をもたずに公正・公平な態度で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
17 どうしよう…… 「明るい心で正直に」 【A 正直、誠実】	1	「わたし」が、中村先生に正直に話すかどうか葛藤する様子をおして、正直であることに対する理解を深め、過ちを素直に反省し、正直に伝えるようとする実践意欲と態度を育てる。	正直であることの大切さに気づき、正直であるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	過ちを素直に反省し、正直に伝えることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
18 わたしの妹、加奈 「家族みんなで協力し合う」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	加奈に対する由衣の思いの変化について話し合うことをとおして、家族で支え合うことのよさに気づき、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	家族で支え合うことのよさに気づき、家族を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	父母や祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭をつくることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
19 よわむし太郎 「正しいと思ったことを行う」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	太郎の考えと行動について話し合うことをとおして、正しくないことをしている人を止めることの大切さに気づき、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。	正しくないことをしている人を止めることの大切さに気づき、正しいと思ったことは自信をもって行うことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	正しいと思ったことをすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
20 ぴっかぴか 「みんなのためにはたらくとは」 【C 勤労、公共の精神】	1	「わたし」が変わった理由について話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、自分でできる仕事を見つけて、すすんでみんなのために働こうとする実践意欲と態度を育てる。	すすんでみんなのために働くことのよさを理解し、みんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	働くことの意義を理解し、積極的に働くことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
21 なんて言ってつたえる？ 「気持ちをつたえ合う」 【B 相互理解、寛容】	1	みかさんのこれからの行動について考えることをとおして、意見を伝えるときに大切なことに気づき、自分の意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見も大切にしようとする心情を育てる。	意見を伝えるときに大切なことに気づき、相手の理解を得られるような思いの伝え方について、多面的・多角的に考えることができているか。	相手の理解を得られるような思いの伝え方について、自分との関わりで考えることができているか。
22 おにのかんたのゆめあんない 「家族で協力し合って」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	家族で協力し合って暮らしているめぐみやひろゆきの様子を考えることをとおして、自分が家族の一員であることに気づき、積極的に協力し合って楽しい家庭をつくろうとする心情を育てる。	家族で協力し合うことの大切さに気づき、自分が家族のためにどのようなことができるかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	楽しい家庭をつくることのよさに気づき、それぞれができることについて、自分との関わりで考えることができているか。
23 金色の魚 「節度を守って」 【A 節度、節制】	1	次々と欲張ってしまったおばあさんが、最後には元に戻ってしまった話をおして、節度を守ることの大切さについて理解を深め、節度のある生活をしようとする心情を育てる。	節度を守ることの大切さに対する理解を深め、わがままをせずに生活していくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	節度を守って生活することの大切さを理解し、どのような心がけが必要か、自分との関わりで考えることができているか。
24 光祐くんのアサガオ 「命を受けついで」 【D 生命の尊さ】	1	光祐くんの生き方やお母さんの思いについて話し合うことをとおして、命を受け継いでいくことのすばらしさに気づき、命を大切にしようとする心情を育てる。	命を受け継いでいくことのすばらしさに気づき、生命が尊いものであることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	命を受け継いでいくことのすばらしさを理解し、かけがえのない自他の生命について、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
25 ひと言の勇氣 「正しいことは自信をもって」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	としまちの考えと行動について話し合うことをとおして、正しいと思ったことを実行することのよさや難しさに対する考えを深め、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。	正しいと思ったことを実行することのよさや難しさに気づき、正しい行動をとることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	正しいと思ったことをするために大切なことについて、自分との関わりで考えることができるか。
26 花さき山 「美しい心」 【D 感動、畏敬の念】	1	花さき山に花を咲かせたあやの心について話し合うことをとおして、美しい心に対する考えを深め、美しいものに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	美しいものに対する考えを深め、美しいものに感動する気持ちについて、多面的・多角的に考えることができるか。	美しいものに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
27 手伝う心 「こまっている人のために」 【B 親切、思いやり】	1	ひろみさんを見守る「わたし」の行為について体験的に学ぶことをとおして、「わたし」とひろみさんの気持ちを理解し、相手の状況や気持ちを考えて行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	親切にすることについて理解を深め、相手のことを考えた行動について、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。	相手のことを考えた行動について理解を深め、自分との関わりで考えることができるか。
28 タンタンタンゴはパパふたり 「すてきな動物たち」 【D 自然愛護】	1	ロイとシロの行動と、それを見守るグラムジーさんの行いをおして、動物に親しみ、動植物を愛護しようとする心情を育てる。	動植物に親しむことに対して理解を深め、動植物を愛護することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	動植物を愛護することの大切さを理解し、自分との関わりで考えることができるか。
29 公園のひみつ 「ささえてくれている人へのかんしゃ」 【B 感謝】	1	おじいちゃんへの「わたし」の感謝の気持ちについて話し合うことをとおして、身近な人々が生活を支えてくれていることに気づき、尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	身近な人々が自分たちの生活を支えてくれていることに気づき、自分たちの生活を支えてくれているさまざまな人々たちへの感謝の気持ちについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分たちの生活を支えてくれている人たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
30 自分たちにできること 「いろいろな国に関心を」 【C 国際理解、国際親善】	1	ゆうきがSDGsをきっかけに、他国の取り組みや文化に関心をもち、理由について話し合うことをとおして、日本と他国とで違いがあることに気づき、他国の人々や文化に親しもうという心情を育てる。	SDGsをきっかけに他国の取り組みについて知ること、他国の文化に関心をもち、日本と他国で違いがあることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	他国では、その特徴やよさを生かしてSDGsに取り組んでいることに気づき、日本ではどのような特徴を生かして、何ができるかについて、自分との関わりで考えることができているか。
31 心のこもった給食 「かんしゃの気持ち」 【B 感謝】	1	宇佐美さんの思いについて話し合うことをとおして、自分の生活がさまざまな人々に支えられていることに気づき、感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	さまざまな人々が自分たちの生活を支えてくれていることに気づき、日常生活において他者が自分のためにしてくれていることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	他者に感謝することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
32 お祭りにこめられている思い 「ちいきにつたわる文化を大切に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	二つのお祭りにこめられている思いについて考えさせることをとおして、地域で大切にされている行事のよさに気づき、地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。	地域で大切にされている行事のよさに気づき、地域の伝統や文化を大切に、伝えていきたいという人々の願いについて、多面的・多角的に考えることができているか。	地域の一人であることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
33 つなみてんでんこ ——走れ、上へ—— 「命を守る」 【D 生命の尊さ】	1	東日本大震災で被災したときの「ぼく」や周りの人の行動や気持ちについて考えることをとおして、命を守ることの大切さに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。	命を守ることの大切さに気づき、命を守るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	命を守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
34 音のこうずい 「きまりを守って」 【C 規則の尊重】	1	電車でのマナーについて話し合うことをとおして、社会のきまりの意義に対する考えを深め、きまりを守って生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	社会のきまりに対する理解を深め、人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	3学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
35 昔からの味をつたえる野菜 「文化をつたえる」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	伝統野菜を守る取り組みについて話し合うことをとおして、地域の伝統や文化を守り伝えていくことの大切さに気づき、地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。	地域の伝統と文化を守り伝えていくことの大切さに気づき、地域の伝統と文化を大切に、先人の努力を引き継ぐことの意義について、多面的・多角的に考えることができるか。	地域の伝統や文化を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
学習をふり返ろう	1	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	心に残った話（教材）とそれを選んだ理由、一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。	